



大蔵だよい

- 発行日：平成24年12月5日
- 発行：大蔵地域自治協議会
広報委員会
- 住所：朝来市和田山町宮田186番地3
大蔵市民会館
TEL 079-672-5651(ファックス兼用)

文化祭とじろはったん村まつり

11月10日から11日にかけて大蔵地区文化祭と大蔵じろはったん村まつりが11日市民会館で開催されました。文化祭の展示では、小学校児童やこども園児を始めとして、地区の方々の作品が会場内に展示され地区内外から多くの方々に鑑賞頂きました。大蔵こども園の会場では「昔の大蔵」の写真が展示されており、当時を思い起こし、懐かしむ高齢の方々の声が室内に響きました、一方駐車場では、こども広場が開設されていて、元気な子どもたちの声が聞こえていました。



じろはったん村まつりが開催された11日の日曜日は、あいにくの雨模様の天気でしたが各区の出店ブースには午前8時の開始時刻までに、早々と準備の方々の姿があり、自治協議会長のあいさつや事務局の指示事項の後に販売が始まりましたが、昼ごろまでは依然として降り続く雨に屋外のお客は少なく屋内の作品展示会場に人が集まっていました。

昼食後の公演では、地元「スマイル高瀬」10名と、地区外からの出演となった「オカレイナニウイオカアイナ」10名のフラダンスチームの熱演を戴き、文化祭の芸能発表祭へと続いて行きました。

大正琴、ハーモニカ、尺八と箏の演奏や、謡曲、演舞、フラダンスなど普段の練習の成果を発表頂き参観者の皆さんも満足されていました。

最後に、大蔵ふるさとネットワークから提供された3斗(約2,000個)の紅白の餅まきが行われ「じろはったん村まつり」を閉じました。

雨天にも関わらず、ご参加頂きました皆様方に御礼申し上げます。

なお、芸能発表祭の様子は自治協議会のホームページの中「ユウ ストリーム」で、ご覧いただけます。





生活安全部会

防犯警報装置 法道寺～岡間に設置

① 防犯警報装置第3弾設置

土田～宮田、高瀬～高田に続き今年度は法道寺～岡間に防犯警報装置を設置することが出来ました。暗くて長い道路でしたが少しは安心出来るようになりました。長い間望まれていた設備でしたが、これで、目標であった3箇所を設置が達成されました。まだまだ危険とされる箇所はありますが、1つずつでも改善できるよう努力したいと思います。

② 年末パトロール実施中

今年も例年通り、月初めから年末パトロールを実施しています。大蔵地区内を交代で「交通安全」、「火災予防」、「振り込め詐欺注意」を呼びかけながら巡回します。多少お騒がせしますがご理解、ご協力をお願いします。

③ 高齢者の事故増加

運転者、歩行者共に高齢者の事故が多い様です。「アクセル」、「ブレーキ」の踏み間違いとか、道路を横断中に後半で「左からの車」と衝突など、夕暮れ時や夜間に目立ちます。歩行者の場合、反射材を身に着けたりして周りから目立つようにしましょう。運転者の場合、相手を早く発見するために早めに前照灯点灯を心がけましょう。

(文責 平岡 浩人)

法道寺～岡間に
防犯警報装置を設置



愛の即売会

11月9日（金）大蔵小学校体育館で毎年好評の朝来市社会福祉協議会主催の「愛の即売会」が行われました。

当日はあいにくの小雨まじりの天候でもあり買い物をする方の人出が心配でしたが、開場前から例年と変わりになく大勢の人に集まっていただきました。

会場では大蔵地区のみなさんからの沢山の出品物が陳列されていましたが終了時にはほぼ売り切りました。とにかく「愛の即売会」では品物がとても安いのでまだ行かれたことのない方、来年はぜひお越し下さい。

今年も健康福祉部会は出品物搬入、陳列、値付け、駐車場案内等の支援をしました。

収益金も例年並みの報告があり、このお金は地域福祉活動に充当されるとの事でした。

今後も大蔵地区のみなさんと共に支援、協力を続けていけたらいいなと思いました。

(文責 細見 秀志)

健康福祉部会



▲ 毎年好評の「愛の即売会」



▲ 民生委員と部会の皆さん

交流と魅力づくり部会

「じろはったんベンチ」作製

じろはったんベンチは、地域住民の高齢化が進んでいく中で、皆様が公園や憩いの場所において休憩していただくのに少しでもお役に立てればとの趣旨で作製しています。今年で3年目になりますが、これまでに30脚作製し、毎年秋の文化祭で休憩用として使用したのち、大蔵地域の各区に持ち帰ってご利用いただいています。

今年は、大蔵小学校にも設置してほしいとの要望もあり、18脚の作製となりました。

ホームセンターで長大な木材を調達し、株式会社平松梱包様のご協力を得て採寸加工していただき、9月8日(土)、それを部会スタッフ約10名が組立て、ペンキ塗りを半日ばかりで行って仕上げました。今年、ペンキ塗り作業を「大蔵まなび隊」の子供達が手伝ってくれて大いに助かりました。



▲ 3年目になったじろはったんベンチづくり

ベンチの色は、「じろはったん」カラーの黄色から、今年はベンチ色(木目調)に変えてみました。また、様々なベンチの利用箇所にも考慮して、防水・防腐剤の木材およびペイントを使用し、長期間の利用に耐えうるベンチ作製に心がけました。今後皆様のご意見を伺いながら次年度以降検討していきたいと思っています。

部会としましては、このベンチに限らず皆様のお役に立てる物があれば、積極的に取組んでいきたいと思っています。

(文責 山中 秋信)

円山川観察と収穫の秋

環境部会

9月27日、15名の部会員により前もって整備された高瀬裏の円山川で3年生が、毎年この時期に行っている水棲生物の観察をしました。

昨年は生息が確認出来なかった「めだか」が今年は数匹捕れました。以前に同じ場所で獲れたものを新潟大学に送って調べてもらったところ、このあたりに生息していた「めだか」と同じDNAを持った「めだか」であることが確認されたそうです。

10月19日には、2年生が落花生の収穫を行い小さな苗から沢山の落花生が採れることにびっくりしていました。



▲ 黄金色に実った紅吉兆の刈り取り

5年生も隣の田んぼで黄金色に実った紅吉兆の刈り取りと稲木に掛ける作業をしました。競争のように3筋だけ刈り進む子もいて、まわりの人と協力しながら刈るようにと注意されながら刈りました。束ねてもらった稲を掛け終えて2時間程で終わりました。

22日にはこども園と1年生がサツマイモ掘りを行い、顔よりも大きなイモもあり満足そうな顔で誇らしげに帰って行きました。

収穫までには多くの人の協力があったことを忘れないで欲しいものです。

(文責 雑賀 忠文)



▲ 水棲生物の観察、こんななまずも獲れました →



▲ こども園と1年生がサツマイモ掘り

「さくらが燃える!!」

昭和54年4月からは全校生が新校舎に入った。一日も早く運動場が使えるようにと、旧校舎の解体が始まった。児童の安全のために運動場には、高い板塀をめくらせて作業が始まった。

ある日、突如として子どもたちの叫び声が職員室に響いてきた。何ごとかとベランダに出てみた。二階の職員室に並んで3・4年生の教室がある。二階は、運動場を囲った板塀より高いから作業の様子がよく見える。そのベランダに全員が出て叫んでいる。「さくらが燃える!」と。

見ると桜のそばに大きな穴を掘り、廃材を焼却しているのではないかと。三階の5・6年生の姿は見えないが同じように絶叫をくりかえしている。焼却の穴からは大きな炎があがっている。直接炎が桜に当たっているのではないが、とてもその場には居られないような至近距離である。200人ほどの抗議の絶叫に作業員はすぐに火を消した。

絶叫は喜びの拍手にかわった。今から思えばほんの短い時間だったようにも思えるが、私はただぼう然と見ていただけである。いや、同じ二階にいた校長以下全職員は何も気づかずにいたし、何もできなかった。ただ子どもたちのすばやい対応というか桜に対する強い思い入れというか、そんな感慨を今にして想う。その時をさかいに樹勢が衰えたことは多くの人が見てきたとおりである。

百年桜は、このようにして子どもたちが守ったのである。あの「さくらが燃える!」という絶叫の中にいた人は大蔵小学校の歴史的遺産を守ったのである。そしてその人もまた歴史的証言者である。今年は移植されて手厚く保護されることになった百年桜である。その陰にこんな秘話があったのである。 (大蔵小学校元職員)



わがむら紹介 芳賀野



大蔵地区内の各区の歴史や現況などを各区长さんが紹介するコーナーです。今回は芳賀野区を取り上げました。

わがむら紹介 芳賀野区長 後藤 敏夫

石和谷にある芳賀野区を訪れたことのある人は、大蔵地区の中でも多くはないと思います。国道9号線から畑峠を越えて養父市に至る県道に集落が面していないからです。

芳賀野区は大蔵地区の中では人口の一番少ない地区です。現在、区の人口は65人、世帯数は23世帯、65才以上の高齢者は26人で、高齢化率は40%になります。中学生以下の子供も10人います。

芳賀野はその名の通り、大倉部山腹を切り開いた集落であり、谷というよりも高原の趣きがあります。

歴史の古い集落であり、往古、枚田～土田に抜ける街道が通じていたとのことで、土田との境を「ひろく峠」と呼び峠には石仏がありました。研究者によれば、この古道こそ古代の山陰道だったという人もいます。神社は荒神さんなど2社あり、村の入り口には六地藏が鎮座し村人の信仰のあつさを示しています。村からは最高裁判事(朝来市名誉市民)を輩出するなど、勤勉で努力家の伝統があります。是非一度、芳賀野地区を散策にお越し下さい。



▲ 芳賀野区の風景

雑記

この会報が配られる頃には、この自動車道を利用された方が有るかもしれませんが、11月24日(土)午後3時から豊岡自動車道の和田山～八鹿間が開通しました。

大蔵地区のまちづくり計画の中にも、また今年の自治協議会総会で市長の挨拶にもあったように、大蔵地区が通過交通の街になりはしないかと少々心配です。

写真は開通式に先駆け11月10日(土)に行なわれた豊岡道(芳賀野地内)でのウォーキングの風景です。

